

ご案内  
報道関係各位

2016年4月8日  
株式会社KADOKAWA

電撃文庫の大人気タイトル誕生と人気作家のデビュー周年記念

# 『狼と香辛料』 & 支倉凍砂 10周年

『狼と香辛料』 続編連載スタート！  
記念プロジェクト進行中 & 公式サイト稼働中!!

株式会社KADOKAWA(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原真樹)アスキー・メディアワークスでは、エンターテインメント・ノベル「電撃文庫」より『狼と香辛料』シリーズを2006年2月から刊行しております。この度、『狼と香辛料』の刊行開始10周年と著者である支倉凍砂(はせくら いすな)デビュー10周年を記念して「狼と香辛料&支倉凍砂10周年プロジェクト」を始動、2月には「狼と香辛料&支倉凍砂10周年公式サイト」(<http://hasekuraaisuna.jp/>)を開設しました。本プロジェクトの企画第一弾として、『狼と香辛料』の続編となる『狼と香辛料』Spring Log編を、4月9日(土)発売「電撃文庫MAGAZINE Vol.49」にて連載開始いたします。

支倉凍砂は、日本最大級の小説新人賞・第12回電撃小説大賞で<銀賞>を受賞、2006年2月に受賞作である『狼と香辛料』で電撃文庫より作家デビューしました。『狼と香辛料』は、行商人ロレンスと賢狼ホロとの旅物語を描いた、剣も魔法も登場しない経済ファンタジー作品で、2度のTVアニメ化をはじめ、コミカライズ、ゲーム化など幅広くメディアミックス展開された、累計発行400万部を超える電撃文庫の大人気作品です。

「狼と香辛料&支倉凍砂10周年公式サイト」では、今後もスペシャル企画を随時展開してまいります。『狼と香辛料』と著者・支倉凍砂の10年を彩る本プロジェクトにご注目ください。

## ■狼と香辛料&支倉凍砂10周年プロジェクト概要

- ① 『狼と香辛料』 新作が連載スタート  
『狼と香辛料』Spring Log編を「電撃文庫MAGAZINE」Vol.49より毎号連載します。  
◆電撃文庫MAGAZINE Vol.49掲載話:『狼と香辛料 旅の余白』
- ②公式サイトにて『狼と香辛料』の短編小説を毎月更新
- ③10周年を記念して、素敵なメモリアルグッズを制作
- ④支倉凍砂の電撃文庫シリーズがまとめて読める電子合本版も登場

この他にも、スペシャル企画を鋭意準備中です。

- 狼と香辛料&支倉凍砂10周年公式サイト：  
<http://hasekuraaisuna.jp/>



イラスト/文倉 十

## ■電撃文庫『狼と香辛料』シリーズ概要



↑『狼と香辛料』第1巻表紙

# 狼と香辛料

第12回電撃小説大賞〈銀賞〉受賞作。2006年2月に1巻が発売。行商人ロレンスが旅の途中に出会ったのは、狼の耳と尻尾を有す美しい少女。彼女は自らを狼神ホロと名乗り、ロレンスに北の故郷ヨイツへ帰る道案内をしてほしいと頼む。ホロが神であることは半信半疑ながらもそれを了承したロレンスは、ホロと共に長い旅に出るのであった。二人は旅の途中様々な経済絡みの事件に巻き込まれ、力をあわせてそれらを乗り越えていく。

支倉凍砂のデビュー作となる、剣も魔法も登場しない経済ファンタジー。

◆著／支倉凍砂 ◆イラスト／文倉 十

◆1～17巻好評発売中 ◆定価：本体510円～630円（税別）

## ■電撃文庫『マグダラで眠れ』概要



↑『マグダラで眠れ』第1巻表紙

人々が新たなる技術を求め、異教徒の住む地へ領土を広げようとしている時代。忌み嫌われる存在である錬金術師のコースラとウェランドは、教会に背いたとして戦争の最前線の町へ送られる。そこでは、彼らの前任の錬金術師が不審な死を遂げていた。不穏な空気漂う中たどり着いた工房で、コースラたちは自らを「監視役」だと名乗る、白い修道女フェネシスに出会う。これは、世界の秘密を紐解く錬金術師たちが、理想の世界「マグダラ」を目指すファンタジーである。

◆著／支倉凍砂 ◆イラスト／鍋島テツヒロ

◆1～8巻好評発売中 ◆定価：本体570円～630円（税別）

## ■電撃文庫『WORLD END ECONOMiCA』概要



『WORLD END ECONOMiCA』  
第1巻表紙

青春×月面×金融！

人類のフロンティア、月面都市を埋め尽くす摩天楼で、多くの人々が見果てぬ夢を追いかけている時代——。月生まれ、月育ちの家出少年ハルは、“前人未踏の地に立つこと”を夢見ていた。そんなハルが月面都市の片隅にある寂れた教会で出会ったのは、黒尽くめの美しき天才少女・ハガナ。その瞬間、夢を追う少年の未来は、大きく動き始める。月生まれの少年ハルの見果てぬ夢を描く、金融冒険青春活劇。

◆著／支倉凍砂 ◆イラスト／上月一式

◆1～3巻好評発売中 ◆定価：本体850円～910円（税別）

## ■電撃文庫『少女は書架の海で眠る』概要



『少女は書架の海で眠る』表紙

『マグダラで眠れ』スピンオフストーリー。

書籍商を目指す本好きの少年フィルは、自身の所属するジーデル商会の命令で、仲間のジャドと異端審問官のアブレアと共にグランド修道院を訪れていた。修道院の所蔵する貴重な蔵書を買いつけるといふ、書籍商としての初仕事に胸を膨らませるフィル。しかし、修道院の図書館で彼を待ち受けていたのは、本を憎む美しい少女クリアだった。フィルたちを追い帰そうとする彼女が隠す、ある秘密とは——。本を愛するすべての人に贈る、至高のビブリオ・ファンタジー。

- ◆著／支倉凍砂 ◆イラスト／松風水蓮
- ◆定価：本体590円（税別） 好評発売中

## ■電撃コミックス『狼と香辛料』概要



電撃コミックス『狼と香辛料』  
第1巻表紙

電撃文庫『狼と香辛料』のコミカライズ。

繊細なタッチで描かれたロレンスとホロの世界が目の前に広がります。

「電撃マオウ」(毎月27日発売)にて連載中。

- 作画／小梅けいと
- 原作／支倉凍砂
- キャラクターデザイン／文倉 十

- ◆1～13巻好評発売中
- ◆定価：本体各570円（税別）
- ◆レーベル：電撃コミックス

※いずれも、発行：株式会社KADOKAWA、プロデュース：アスキー・メディアワークス

## ■支倉凍砂プロフィール

### 支倉凍砂（はせくら・いすな）

第12回電撃小説大賞で〈銀賞〉を受賞。2006年2月に受賞作『狼と香辛料』で電撃文庫よりデビュー。同作は2度のTVアニメ化をはじめ、コミカライズ、ゲーム化など、数々のメディアミックスを果たした大人気シリーズとなっています。以降も『マグダラで眠れ』『WORLD END ECONOMiCA』などのシリーズを執筆。

## <ご参考>

### ■「電撃文庫」とは

1993年6月創刊の文庫レーベル。「電撃文庫」ではこれまで、ファンタジー、SF、ミステリー、ホラー、ラブコメなど、ジャンルを問わないオリジナルなエンターテインメント作品を刊行してまいりました。『とある魔術の禁書目録(インデックス)』(シリーズ累計1,580万部)をはじめ、『灼眼のシャナ』(同860万部)、『キノの旅』(同800万部)、『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』(同500万部)、『アクセル・ワールド』(同450万部)、『ソードアート・オンライン』(同1,210万部)、『はたらく魔王さま!』(同255万部)、『魔法科高校の劣等生』(同700万部)、『デュラララ!!』(同560万部)、『ヘヴィーオブジェクト』(同120万部)など、数多くの大人気シリーズを生み出しています。2016年は『ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った?』(同90万部)が4月よりTVアニメ放送開始のほか、『ねじ巻き精霊戦記 天鏡のアルデラミン』(同42万部)のTVアニメ化、『アクセル・ワールド』新作アニメ、『ソードアート・オンライン』劇場版アニメの制作も決定しています。

現在活躍中の人気作家の多くは、創刊と同年にスタートした小説・イラスト・コミックの新人登竜門「電撃大賞」より誕生しています。アニメ、コミック、実写映画、ゲーム、音楽、イベントなど、さまざまなメディアミックスも展開。2015年10月にはファンクラブサービス「電撃文庫CLUB」もスタートし、「電撃文庫」は幅広い層の方々に楽しんでいただいております。毎月10日発売。

- 「電撃文庫」公式サイト: <http://dengekibunko.jp/>
- 電撃文庫CLUB: <http://dengekibunko.jp/club/>
- 「電撃文庫」公式Twitterアカウント: @bunko\_dengeki

### ■「電撃文庫MAGAZINE」とは

電撃文庫ファンのための最強エンターテインメントマガジン。人気シリーズのメディアミックス情報、書き下ろし小説やコミックなどを多数掲載。毎号の豪華オリジナル付録も注目です。偶数月10日発売。

- 「電撃文庫MAGAZINE」公式サイト: <http://dengekibunko.jp/magazine/>

### ■アスキー・メディアワークスとは

アスキー・メディアワークスは、小説、コミック、ゲーム、ホビーなど、エンターテインメント分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

- KADOKAWAオフィシャルサイト: <http://www.kadokawa.co.jp/>
- アスキー・メディアワークス公式サイト: <http://asciimw.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社KADOKAWA  
アスキー・メディアワークス  
<http://asciimw.jp/>